

InfoTrace360

Mark II Clientインストール手順書

株式会社ソリトンシステムズ
2025年10月

目次

- はじめに
- [Step 1. 導入前確認項目](#)
- [Step 2. インストーラーの準備](#)
- [Step 3. Mark II Clientのインストール](#)
- [Step 4. Mark II Clientの状態確認](#)
- [Step 5. Mark II Clientのアンインストール](#)
- [付録. OSのイメージコピーによる展開をする場合](#)

はじめに

- 株式会社ソリトンシステムズ クラウドサービス製品「InfoTrace 360」をご利用いただき、誠にありがとうございます。
- 本書は、InfoTrace 360をご利用の際に必要なInfoTrace Mark II Client(以下Mark II Client)を、コンピューターにインストール/アンインストールするための管理者向け手順書です。
※InfoTrace 360ではMark II Clientを利用しています。
- InfoTrace 360のドキュメントはサービスポータルからアクセスできる[クライアント管理]の「ダウンロード」メニューにて提供します。
より新しい版が提供されている場合は最新版を参照してください。
- Mark II Clientのアンインストール時、未送信のログをすべて送信します。ログをすべて送信後にアンインストールが完了しますので、アンインストール操作はインターネット通信可能な状態で実施ください。

Step 1: 導入前確認項目

Mark II Clientの動作要件

■ 本サービスで利用するMark II Clientの動作要件は以下の通りです。

対応OS (日本語/英語)	Windows 11 ※Windows 11 on ARMはサポート対象外です。 ※Windows 11 LTSCはサポート対象外です。 ※Windows OSの対応状況は、 https://www.soliton.co.jp/support/win_virus.html を参照ください。 ※海外での利用の場合は、 https://www.soliton.co.jp/lp/it360/foreign.html を参照ください。
CPU	OSが動作するCPU
メモリ	OSが動作するメモリ
HDD	1GB以上の空き容量 (ログファイル、キャッシュファイルによって増加)
通信方式	IPv4
その他	.Net Framework 3.5 SP1以上が必要です。 OS は最新の状態 (Windows Update が行われている状態) で使用することを推奨します。 以下のソリトン製品・サービスとの共存はできません。アンインストールの上ご利用ください。 - オンプレミスで構築のInfoTrace PLUS (Zerona PLUS) Agent - オンプレミスで構築のInfoTrace Mark II Client、Mark II CloudサービスのMark II Client

通信要件

- 本サービスの利用に必要な通信は下記の通りです。
必要な通信が行えるようにファイアウォールの設定変更等を行って頂く必要があります。

通信元	通信先	ポート、プロトコル
お客様の管理端末	アカウント通知に記載の通信先 「サービスポータル」 「ログダウロード接続先」	443/TCP
	i360-01-ec-2.soliton-ods.jp i360-01-wb-2.soliton-ods.jp i360-01-logdl1.soliton-ods.jp secure.okbiz.okwave.jp www.soliton.co.jp	443/TCP
お客様が管理される端末 (Mark II Client)	アカウント通知に記載の通信先 「クライアント接続先」	443/TCP

プロキシ利用環境の場合

- Mark II Client プロキシ利用環境での注意事項について。
 - プロキシ認証には対応しておりません。
 - プロキシ利用環境ではWinHTTPプロキシ設定が必要です。予め設定しておいてください。
例) コントロールパネルの［インターネットオプション］から設定をインポートする場合、コマンドプロンプトから以下のコマンドを実行して下さい。
netsh winhttp import proxy source=ie
※マイクロソフト社のサイトなども参照ください。
 - 通信確認用ツールのツールを提供しています。
InfoTrace 360のサービスポータルにログインし、「クライアント管理」内メニューの「ダウンロード」、「ツールその他」にあります。以下FAQも参照ください。
<https://secure.okbiz.okwave.jp/faq-soliton/faq/show/14425>

仮想化環境について

- InfoTrace 360のMark II Client を仮想化環境に導入し利用することはサポートしておりません。
- 弊社サポートサイトの「[仮想化環境への対応について](#)」に掲載している情報は、オンプレミス環境で利用するInfoTrace Mark IIの情報であり、InfoTrace 360のことではありません。
- サポート対象外の環境にInfoTrace 360のMark II Clientを導入したことにより記録された情報、360ダッシュボードの結果表示、その他お客様環境で発生した事象に対して、弊社からの支援を行えない場合があります。

ブラウザの拡張機能とメールーのアドイン（アドオン）の利用について

- ネットワークイベントの以下のサブイベントは、監視可能なソフトウェアと、そのバージョンが限定されます。
 - Webアクセス / Webログイン サブイベント
 - 本サブイベントの監視には、ブラウザの拡張機能を利用しています。ブラウザの拡張機能の利用を禁止している場合は、該当操作が記録できません。
 - ブラウザを使った メール送信 / メール受信 サブイベント
 - 本サブイベントの監視には、ブラウザの拡張機能を利用しています。ブラウザの拡張機能の利用を禁止している場合は、該当操作が記録できません。
 - Outlook on Web、Gmail が監視対象です。
 - Gmail の受信メール情報取得のために定期的に Gmail サーバーへアクセスします。
 - Gmailのメール受信サブイベントで記録できるフィールドはかなり限定されます。
 - Outlook on Webではメール送信サブイベントだけが記録対象です。
 - Windowsアプリケーションを使った メール送信 / メール受信 サブイベント
 - 本サブイベントの監視には、Windowsアプリケーションのメールクライアントのアドイン（アドオン）を利用しています。メールクライアントのアドイン（アドオン）の利用を禁止している場合は、該当操作が記録できません。
- 拡張プラグインについては、Mark II Clientの導入後、自動でインストールされます。インストールされた監視のための拡張プラグインについては、コンピューター利用者による削除はできないようになっています。

サポートブラウザ

ブラウザ名称	サポートバージョン
Microsoft Edge (Chromium版)	最新バージョン
Google Chrome	最新バージョン
Mozilla Firefox	最新バージョン

動作確認済みメールー

名称	動作確認済みバージョン
Microsoft365 Outlook	メジャーバージョン16以降
Mozilla Thunderbird	v.102.x / v115.x

ウィルス対策ソフトとの共存について

Mark II Clientを端末で利用する際に、ウィルス対策ソフトがインストールされていると

- Mark II Clientのインストールに失敗する
- 設定が反映されない
- クライアント端末のパフォーマンスが低下する

等の問題が発生する可能性があります。

Mark II Clientインストール前に、ウィルス対策ソフトで下記フォルダ、ファイルの監視(検索)除外設定をおこなって下さい。

インストールフォルダ ※1	データフォルダ(設定やログ情報等)、ファイル
C:¥Program Files¥Soliton Mark II Updater C:¥Program Files¥Soliton InfoTrace Mark II EPM C:¥Program Files¥Soliton InfoTrace Mark II Recorder C:¥Program Files¥Soliton SmartOn	C:¥ProgramData¥Soliton Mark II Updater C:¥ProgramData¥Soliton Mark II Uploader C:¥ProgramData¥Soliton InfoTrace Mark II EPM C:¥ProgramData¥Soliton InfoTrace Mark II Recorder C:¥ProgramData¥Soliton SmartOn

※1.フォルダ名はシステムドライブがCドライブにおける初期設定の場合です。
インストールフォルダを変更している場合は、インストール先のフォルダを除外設定してください。

※2.システムドライブがCドライブ以外の場合は「C:」の部分システムドライブに読み替えてください。

※3.ご利用のウィルス対策ソフトによっては、フォルダが存在しない場合には除外設定を行えない事がございます。
インストール自体が成功する場合は、インストール後に除外設定を行ってください。
インストールが失敗する場合は、事前にフォルダを手動で作成することで対応が可能であるかご確認ください。
除外設定の詳細につきましてはウィルス対策製品のサポート窓口にお問い合わせください。

Step 2: インストラクターの準備

インストーラーをダウンロードする

インストーラーはサービスポータル[クライアント管理]からダウンロードすることができます。

- 1. サービスポータルの[クライアント管理]をクリックします。
- 2. 左の「ダウンロード」メニューを選択し、「クライアント」にあるインストーラーをダウンロードします。
※ インストーラーのサイズは約100MB程度です。


InfoTrace 360
クライアント管理

ホーム

コンピューター

アプリ・プリンター

台帳作成

USBデバイス

制御ポリシー

組織情報

ダウンロード

ダウンロード

クライアント	ダウンロード	日付
インストーラー		2022/05/11

ドキュメント

ダウンロード

日付

InfoTrace360ログダウンロードマニュアル.pdf		2022/03/10
360ダッシュボード利用マニュアル.pdf		2021/12/28
クライアント管理マニュアル.pdf		2022/02/28
ODからIT360への移行手順書.pdf		2021/09/14
Clientインストール手順書.pdf		2021/12/24

ツールその他

ダウンロード

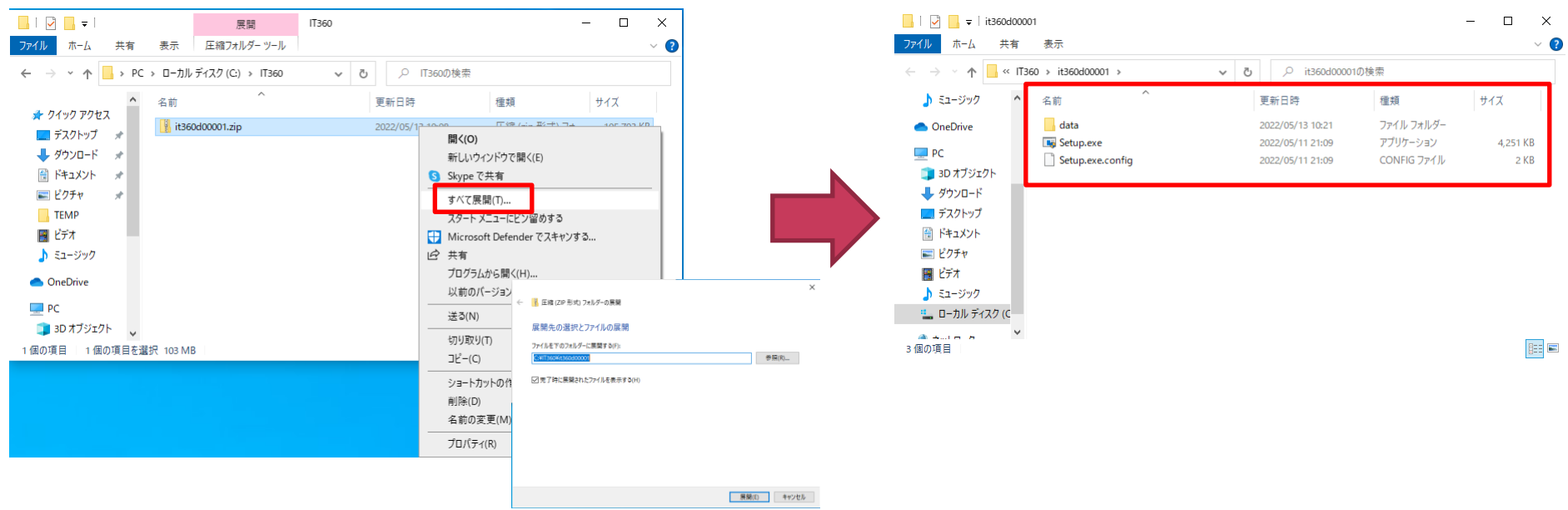
日付

MKImigrationtool.exe		2021/01/29
組織情報アップロードフォーマット.csv		2021/11/26
資産項目設定アップロードフォーマット.csv		2022/03/23

インストーラーを展開・配置する

ダウンロードしたインストーラーはZIPファイル形式で圧縮されています。

- 1. エクスプローラーの[すべて展開]などを利用して展開します。
- 2. 展開されたフォルダー配下のツリー構造をそのまま、コンピューターに配布するかファイルサーバーなどアクセス可能な共有フォルダーへ配置してください。

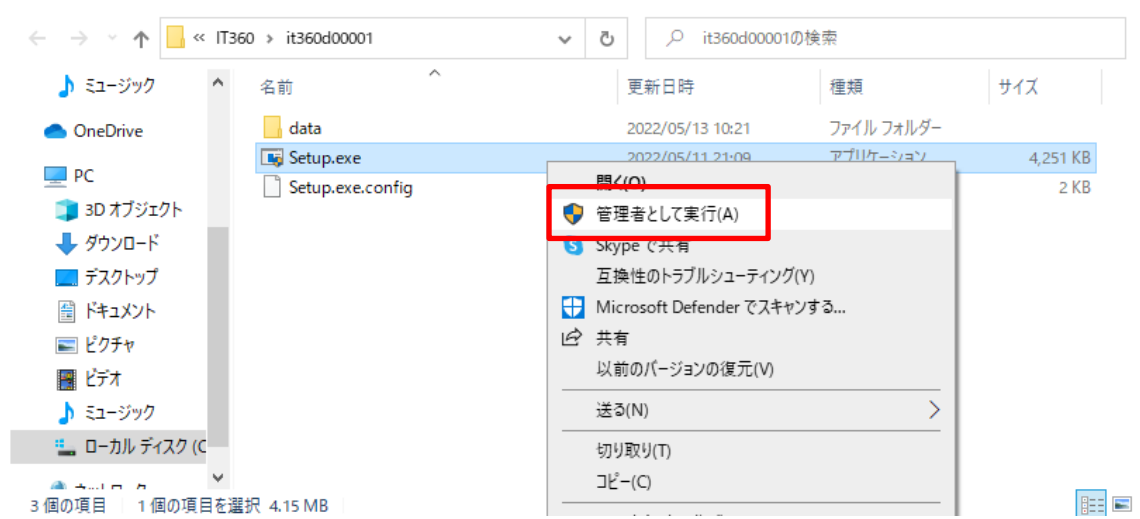


- ◆ 端末のユーザーがインストールする場合→「 Step 3: Mark II Clientをインストールする(手動) 」へ(P15)
- ◆ 管理者が資産管理ソフト等を利用してインストールする場合→「Step3： Mark II Clientをインストールする(サイレント) 」へ(P17)
- ◆ OSのイメージコピーを利用する場合→「付録: OSのイメージコピーによる展開をする場合」へ(P29)

Step 3: Mark II Clientのインストール

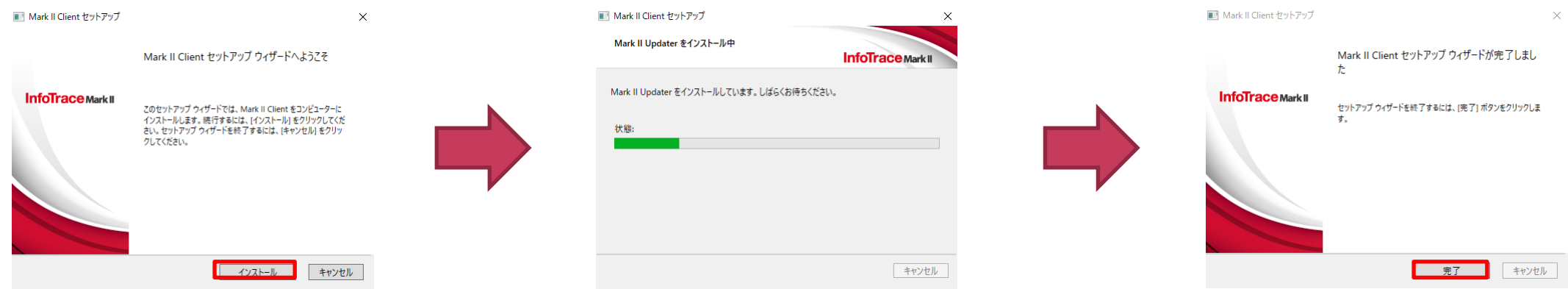
Mark II Clientをインストールする(手動)

- 展開したインストーラーを使用して、コンピューターにMark II Clientをインストールします。
(動作環境に関しましては「Mark II Clientの動作要件」(P.5)を参照ください)
- 1. インストーラーフォルダー配下の「Setup.exe」をダブルクリックします。
※インストールには管理者権限のあるユーザーでログオンしている必要があります。管理者権限のないユーザーでログオンしている場合は、右クリックで表示されるメニューから、[管理者として実行(A)]をクリックしてください。



Mark II Clientをインストールする(手動)

2. 以下の画面が表示されます。[インストール]をクリックするとMark II Updaterのインストールが開始されます。
インストールが完了するまでお待ちください。



3. インストール完了後、OS再起動が要求されますので再起動してください。
※起動中のアプリケーションがある場合は、アプリケーション終了後に再起動してください。



Mark II Clientをインストールする(サイレント)

- 以下のコマンドを実行することで、Mark II Clientのサイレントインストールを行うことができます。
(動作環境は「Mark II Clientの動作要件」(P.5)を参照ください)
- 1. インストーラーのフォルダ内にある[Setup.exe]を[/q]オプションを付与して実行します。
例) > C:¥IT360¥it360d00001¥Setup.exe /q
※パスにスペースが含まれる場合は、ダブルクォーテーション(")で括ってください。
※インストールには管理者権限が必要です。
- 2. Mark II Clientのインストール完了後にはOSの再起動が必要です。ユーザーに連絡しOSの再起動を実施してください。(OS再起動が必要かどうかは、[クライアント管理]の[コンピューター]から確認できます。)

☐	応答なし	DESKTOP-A74D2IL	Windows 10 2009	10.12.220.125	DESKTOP-A74D2IL¥taro	2022/05/11 21:09:46	2021/08/18 15:41:48	2021/08/18 15:38:15
☐	応答なし	DESKTOP-ARGKUV7	Windows 10 2009	192.168.216.137		2022/05/11 21:09:46	2021/11/10 19:54:50	2021/11/10 18:02:35
☐	応答なし	DESKTOP-PROGB5P	Windows 10 2009	192.168.80.128	DESKTOP-PROGB5P¥User001	2022/05/11 21:09:46	2022/03/09 10:56:59	2022/03/09 10:51:06
☐	再起動が必要	DESKTOP-U20GQSL	Windows 10 20H2	10.13.255.19	DESKTOP-U20GQSL¥admin	2022/05/11 21:09:46	2022/05/13 10:26:05	2022/05/13 10:16:07
☐	再起動が必要	IT360TEST01	Windows 10 21H2	192.168.20.193	IT360TEST01¥admin	2022/05/11 21:09:46	2022/05/13 10:27:22	2022/05/13 10:27:12

Mark II Clientのアップデート時のOS再起動は速やかに

Mark II Clientのモジュール更新が含まれるアップデート処理の場合、処理の完了にはOS再起動が求められます。このOS再起動待ちの状態で、コンピューターの強制電源断が発生した場合、Mark II Clientのモジュール更新が正しく実施されず、Mark II Clientの状態がエラーとなります。

コンピューターの強制電源断の発生例

- ノートパソコンのバッテリーがなくなる
- デスクトップパソコンの電源ケーブルが抜ける
- 他のソフトウェア等によりブルースクリーン（BSOD）エラーが発生する

OS再起動待ちの状態で、意図せず発生する可能性がある「強制電源断」から守るため、Mark II Clientのアップデート時にOS再起動通知が表示された場合、**速やかなOS再起動を推奨**します。

Mark II Clientが異常な状態になった場合、**[クライアント管理]**の**[コンピューター]**を開くと、状態が**「エラー」**になっているコンピューターとして見つかります。

該当コンピューターを見つけた場合、**[クライアント管理]**の**[ダウンロード]**より**最新のインストーラーをダウンロードし、お客様自身により上書きインストールの実行をして修復をお願いいたします。**

Step 4: Mark II Clientの状態確認

Mark II Clientの状態を確認する

- Mark II Client のインストール完了・OS再起動後、Mark II Client とInfoTrace 360クラウド間で通信が行われ、コンピューターが「クライアント管理」に登録されます。
- 1. Windowsのタスクトレイから[Soliton Mark II Updater]のアイコンをダブルクリックして、 Soliton Mark II Updater画面を表示します。



- 2. [アップデート]タブをクリックし、Mark II Clientの状態を確認することができます。



※[更新する]ボタンをクリックして、「最新の状態です」となることを確認してください。
(オンライン環境の場合は、最終チェック日時が更新されます。)

クライアント管理から確認する

1. クライアント管理の[コンピューター一覧]にMark II Clientをインストールした端末が登録され、[状態]が[正常]となっていることを確認してください。
(クライアント管理の詳細は「クライアント管理マニュアル」をご参照ください。)

InfoTrace 360
クライアント管理

ホーム

コンピューター

アプリ・プリンター

台帳作成

USBデバイス

制御ポリシー

組織情報

ダウンロード

アクセスログ

検索項目

☒ コンピューター名

☐ IPアドレス

☐ MACアドレス

☐ ドメイン名

☐ パッチ名

☐ 組織名

☐ モジュール

Updater

☐ 最終WindowsUpdate日時

yyyy/mm/dd --:--:--

-

yyyy/mm/dd --:--:--

☐ インベントリ収集日時

yyyy/mm/dd --:--:--

-

yyyy/mm/dd --:--:--

☐ OS名

☐ OSビルド番号

☐ ソフトウェア名

☐ ソフトウェアのバージョン

☐ WindowsUpdateの名称

☐ Windowsストアアプリの名称

☐ プリンタ名

☐ プリンタドライバファイル

☐ プリンタドライバのバージョン

IT360

検索

クリア

コンピューター一覧

インベントリ取得

アンインストール

削除

CSV出力

表示

25

件

前へ

1

次へ

	状態	コンピューター名	OS名	IPアドレス	最終ログインユーザー	プロファイル更新日時	最終通信日時	最終ログ通信日時
☐	正常	IT360TEST01	Windows 10 21H2	192.168.20.193	IT360TEST01¥admin	2022/05/11 21:09:46	2022/05/13 10:38:49	2022/05/13 10:34:54

1件中 1件から1件を表示しています

前へ

1

次へ

Step 5: Mark II Clientのアンインストール

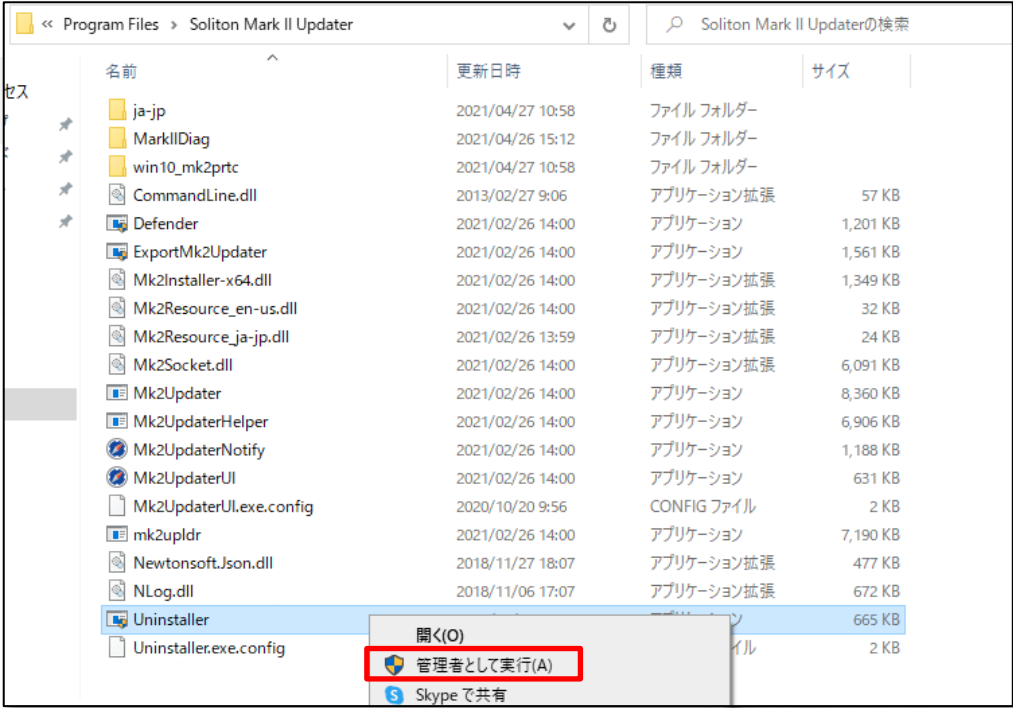
！重要！

Mark II Clientのアンインストール時、未送信のログをすべて送信します。ログをすべて送信後にアンインストールが完了しますので、アンインストール操作はインターネット通信可能な状態で実施ください。インターネット通信接続不可の状態では手動アンインストールしたり、アンインストール操作を実施せずにコンピューターを破棄等しますと、未送信のログは破棄されます。破棄されたログの分析やログスポット提供サービス等でログを入手することはできませんのでご注意ください。

Mark II Clientをアンインストールする(手動)

- アンインストール時においても「Step 1: 導入前確認項目」(P.5～7)を確認した上で、実施してください
- 1. 以下フォルダのUninstaller.exeファイルを実行します。
※インストールには管理者権限が必要です。
管理者権限のないユーザーでログオンしている場合は、[管理者として実行(A)]をクリックしてください。

C:¥Program Files¥Soliton Mark II Updater



Mark II Clientをアンインストールする(手動)

2. 以下の画面が表示されます。[アンインストール]をクリックし、パスワード入力後にアンインストールが開始されます。アンインストールが完了するまでお待ちください。

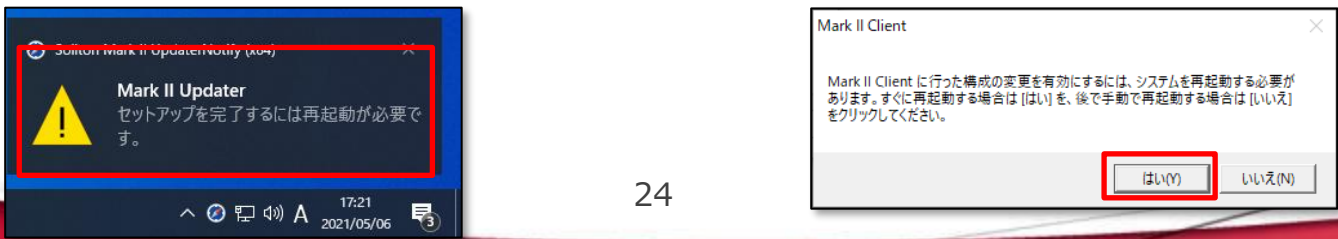
※アンインストールパスワードはサービス開始時に発行のアカウント通知書に記載されています。

※アンインストールしたPCは[クライアント管理]の[コンピューター一覧]から消去されます。



2. アンインストール完了後、OS再起動が要求されますので再起動してください。(Windows 10の場合、通知領域に表示)

※起動中のアプリケーションがある場合は、アプリケーション終了後に再起動してください。



Mark II Clientをアンインストールする(クライアント管理画面)

- [クライアント管理]画面からアンインストールすることも可能です。
※クライアント管理からのアンインストールの場合はパスワードの入力が不要です。
- 1. サービスポータルの[クライアント管理]をクリックします。
- 2. [コンピューター]画面からアンインストールするPCのチェックボックスを有効にして「アンインストール」ボタンを押下すると画面上部にアンインストール確認のポップアップが表示されるので、OKをクリックします。

InfoTrace 360
クライアント管理

ホーム

コンピューター

アプリ・プリンター

台帳作成

USBデバイス

制御ポリシー

組織情報

ダウンロード

アクセスログ

検索項目

☒ コンピューター名

☐ IPアドレス

☐ MACアドレス

☐ ドメイン名

☐ バッチ名

モジュール

Updater

最終WindowsUpdate日時

yyyy/mm/dd --:--:--

yyyy/mm/dd --:--:--

インベントリ収集日時

yyyy/mm/dd --:--:--

yyyy/mm/dd --:--:--

OS名

OSビルド番号

ソフトウェア名

ソフトウェアのバージョン

WindowsUpdateの名称

Windowsストアアプリの名称

プリンタ名

プリンタドライバファイル

プリンタドライバのバージョン

IT360

検索

クリア

コンピューター一覧

インベントリ取得

アンインストール

削除

CSV出力

表示

25

件

前へ

1

次へ

✓	状態	コンピューター名	OS名	IPアドレス	最終ログインユーザー	プロファイル更新日時	最終通信日時	最終ログ通信日時
☒	正常	IT360TEST01	Windows 10 21H2	192.168.20.193	IT360TEST01¥admin	2022/05/11 21:09:46	2022/05/13 10:38:49	2022/05/13 10:34:54

1 件中 1 件から1 件 を表示しています

前へ

1

次へ

Mark II Clientをアンインストールする(クライアント管理画面)

3. 状態がアンインストール中となります。アンインストールが完了次第管理画面からPCが消去されます。

InfoTrace 360
クライアント管理

ホーム

コンピュータ

アプリ・プリンター

台帳作成

USBデバイス

制御ポリシー

組織情報

ダウンロード

アクセスログ

検索項目

コンピュータ名

IPアドレス

MACアドレス

ドメイン名

バッチ名

組織名

モジュール

Updater

最終WindowsUpdate日時

yyyy/mm/dd --:--:--

yyyy/mm/dd --:--:--

インベントリ収集日時

yyyy/mm/dd --:--:--

yyyy/mm/dd --:--:--

OS名

OSビルド番号

ソフトウェア名

ソフトウェアのバージョン

WindowsUpdateの名称

Windowsストアアプリの名称

プリンタ名

プリンタドライバファイル

プリンタドライバのバージョン

IT360

検索

クリア

コンピュータ一覧

インベントリ取得

アンインストール

削除

CSV出力

表示

25

件

前へ

1

次へ

状態	コンピュータ名	OS名	IPアドレス	最終ログインユーザー	プロフィール更新日時	最終通信日時	最終ログ通信日時
アンインストール中	IT360TEST01	Windows 10 21H2	192.168.20.193	IT360TEST01¥admin	2022/05/11 21:09:46	2022/05/13 10:48:50	2022/05/13 10:45:22

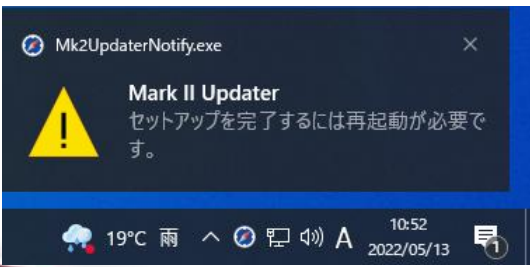
1 件中 1件から1件 を表示しています

前へ

1

次へ

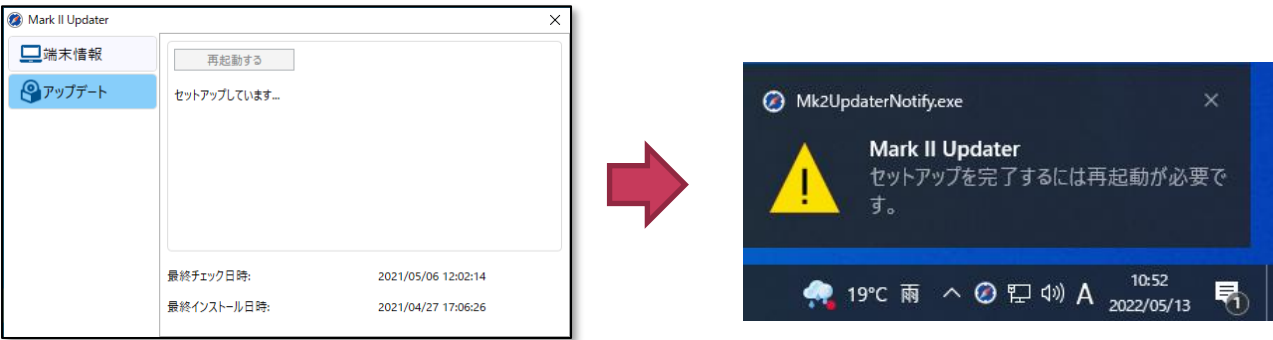
4. PC側にてOSの再起動が要求されるため、再起動をしてください。



Mark II Clientをアンインストールする(クライアント管理画面)

※クライアント管理画面からPCが消去されるまでに時間が掛かる場合があるため、Soliton Mark II Updater画面にて[更新する]を実施することでアンインストールを早めることが可能です。
(「Mark II Clientの状態を確認する」(P.21)を参照してください)

[更新する]を実施すると、下記画面が表示された後、Mark II Updaterの画面が消え、OSの再起動が要求されるため、再起動することによりアンインストールが完了します。
その後、クライアント管理画面からも消去されます。



Mark II Clientをアンインストールする(サイレント)

- 以下のコマンドを実行することで、Mark II Clientのサイレントインストールを行うことができます。サイレントアンインストールを実施する際は以下の点にご注意ください。

※コマンド入力時にアンインストールパスワードが平文で表示されます。
本パスワードはインストーラー共通のものになり、同じパスワードで他の端末のMark II Clientもアンインストールも可能です。
管理者以外にはパスワードが見られないよう配慮してください。
(アンインストールパスワードの再発行はできません。)

1. Mark II Clientインストールフォルダ内にある[Uninstaller.exe]を[/q /password パスワード]オプションを付与して実行します。

例) > "C:¥Program Files¥Soliton Mark II Updater¥Uninstaller.exe" /q /password パスワード

※パスにスペースが含まれる場合は、ダブルクォーテーション(")で括ってください。
※アンインストールには管理者権限が必要です。
※アンインストールパスワードはサービス開始時に発行のアカウント通知書に記載されています。
※クライアントがインターネットに接続されていれば、アンインストールしたPCは[クライアント管理]の[コンピューター一覧]から消去されます。

2. Mark II Clientのアンインストール完了後にはOSの再起動が必要です。ユーザーに連絡しOSの再起動を実施してください。

付録: OSのイメージコピーによる展開をする場合

OSのイメージコピーによる展開をする場合

- Mark II Clientをインストールすると、端末を一意に識別する端末管理ID（以下TMID）が発行されます。インストール後OSのイメージコピーで展開した場合、TMIDが重複し以下のような問題が発生する可能性があります。
 - [コンピューター管理] にクローンイメージのマスタ分の台数の端末しか登録されない
 - [360ダッシュボード]でログが正常に解析できない
- イメージコピーでの展開をする場合は、必ずキッティングモードでインストールしてください。
- Mark II Clientの更新が行われた場合、マスタイメージ内のMark II Clientの再インストールを推奨します。

Mark II Clientを構成する

新規マスターイメージを作成する

マスターイメージの新規作成の注意点

Mark II Clientを内包したマスターイメージを作成する場合、以下の点に注意して作成してください。

- Mark II Client以外のソフトウェアのインストールをすべて環境させる
- Mark II ClientはOS再起動等が発生しない一番最後にキットティングモードで導入する
- Mark II Clientをキットティングモードでインストールしたあと、「sysprep」を実行する

上記の手順を守らない場合、マスターイメージをクローニングしたコンピューターが、クライアント管理画面からは1台に見えるようになります。

リモートアンインストールも正しく動作しなくなり、復旧には該当コンピューターで以下のコマンドでの手動アンインストールが必要となります。

> **"C:¥Program Files¥Soliton Mark II Updater¥Uninstaller.exe" /q /password パスワード REMOVEFILE_ALL=1**

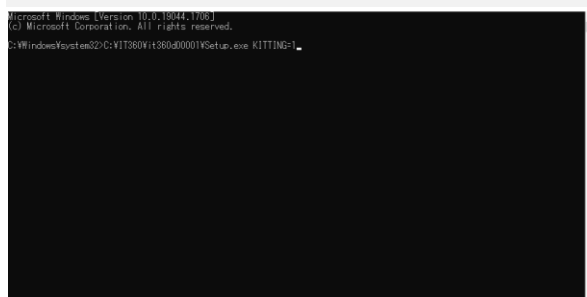
手順を確認の上、マスターイメージの作成をすることを推奨いたします。

以降のスライドにて、キットティングモードでのMark II Clientのインストール手順を例示します。

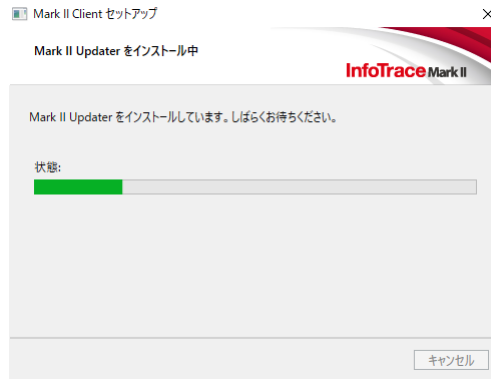
キッティングモードでMark II Clientをインストールする

1. キッティングモードでインストールをする場合は、インストーラーのフォルダ内にある[Setup.exe]を[KITTING=1] オプションを付与して実行します。

例) > C:¥IT360¥it360d00001¥Setup.exe KITTING=1

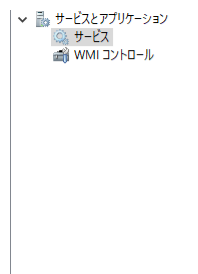


2. 通常のインストール同様、セットアップウィザードが起動します。
[インストール]をクリックするとMark II Updaterのインストールが開始されますので、インストールが完了するまでお待ちください。



キッティングモードでMark II Clientをインストールする ～つづき～

- キッティングモードでインストールした端末は、インストール後にサービスの起動をせずに、OS の再起動後にサービスを起動します。
インストール完了後、OSのサービス管理画面を表示して、[Soliton ～] で始まる一連のサービスが自動起動で登録され、状態が「実行中」となっていないことを確認してください。



Smart Card Removal Policy	ユーザ...	手動	Local S...
SNMP トラップ	ローカ...	手動	Local S...
Software Protection	Wind...	自動 (運送開始、ト...	Networ...
Soliton Device WhiteList Service		自動	Local S...
Soliton InfoTrace Mark II Defender	Solit...	自動	Local S...
Soliton InfoTrace Mark II Enforcer Device Control Service		自動	Local S...
Soliton InfoTrace Mark II Enforcer Log Service		自動	Local S...
Soliton InfoTrace Mark II Enforcer Service		自動	Local S...
Soliton InfoTrace Mark II EPM	Solit...	自動	Local S...
Soliton InfoTrace Mark II LogUploader	Solit...	自動	Local S...
Soliton InfoTrace Mark II Recorder	Solit...	自動	Local S...
Soliton InfoTrace Mark II Updater	Solit...	自動	Local S...
Spot Verifier	ファイ...	手動 (トリガー開始)	Local S...
SSDP Discovery	SSDR...	実行中 手動	Local S...

- OS 再起動前の状態で「sysprep」を実行してください。
その後、マスターとなるOS のディスクイメージを作成し、作成したディスクイメージを複製してクライアントコンピューターへ展開してください。

更新時にはMark II Clientの再インストールが必要

マスターイメージを更新する

マスターイメージの更新時の注意点

Mark II Clientを内包したマスターイメージを更新する場合、以下の点に注意して作成してください。

- 一番最初にMark II Clientをアンインストールする
- Mark II Client以外の**ソフトウェア**のインストールをすべて環境させる
- Mark II ClientはOS再起動等が発生しない一番最後にキッティングモードで導入する
- Mark II Clientをキッティングモードでインストールしたあと、「sysprep」を実行する

上記の手順を守らない場合、マスターイメージをクローニングしたコンピューターが、クライアント管理画面からは1台に見えるようになります。

リモートアンインストールも正しく動作しなくなり、復旧には該当コンピューターで以下のコマンドでの手動アンインストールが必要となります。

> **"C:¥Program Files¥Soliton Mark II Updater¥Uninstaller.exe" /q /password パスワード REMOVEFILE_ALL=1**

※パスにスペースが含まれる場合は、ダブルクォーテーション(")で括ってください。

※アンインストールには管理者権限が必要です。

※**アンインストールパスワードはサービス開始時に発行のアカウント通知書に記載されています。**

手順を確認の上、マスターイメージの更新をすることを推奨いたします。

マスターイメージ更新手順の概要

マスターイメージの更新手順とその時発生する事象を以下に示します。

1. マスターイメージを起動（OS起動）
Mark II Clientが起動し、TMIDを生成（Mark II Serverに登録される）、ログも生成開始。
2. Mark II Client手動アンインストール
手順1で記録されたMark II Clientのログが送信され、クライアント管理の登録が削除される
3. マスターイメージの再起動する。（Mark II ClientのアンインストールではOS再起動が必須なため）
4. マスターイメージ内のアプリケーションの更新作業（バージョンアップ、設定変更等）
5. Mark II Clientをキッティングモードでインストール
6. Sysprepコマンドの実行
7. マスターイメージをシャットダウン（OSシャットダウン）

上記手順の操作時のMark II Clientのインストーラーのダイアログ表記については本資料の他のスライドを参考にしてください。

360ダッシュボードには手順2実行前のログが送信されるため、分析結果に混ざる場合があります。削除はできませんのでご了承ください。もし、360ダッシュボードにマスターイメージのログが混ざらない様にする場合、手順2まではインターネットに接続できない状況にして、実行してください。

「見えるから分かる、分かるから変えられる」へ

InfoTrace 360

<https://www.soliton.co.jp/lp/it360/>

Soliton[®]

株式会社ソリトンシステムズ <https://www.soliton.co.jp/>

〒160-0022 東京都新宿区新宿2-4-3 TEL 03-5360-3811 netsales@soliton.co.jp

大阪営業所06-7167-8880 福岡営業所092-263-0400 名古屋営業所052-217-9091

東北営業所022-716-0766 札幌営業所011-242-6111

※InfoTrace 360は、株式会社ソリトンシステムズの商標です。

※InfoTrace は、株式会社ソリトンシステムズの登録商標です。

※その他、本資料に記載の商品・サービス名は、各社の商標または登録商標です。